

No. J01	まっちゃん	年月日	令和5年6月8日(木)
---------	-------	-----	-------------

## 設問

[問い1] 今だったらどんな質問ができるか

- 1、現在のお母様の介護の状況について差し支えなければ、お伺いできますでしょうか？
- 2、営業というお仕事についてどのような考えを丸山さんは持たれているのでしょうか？
- 3、勤務時間や休日出勤が増えると、現在の介護ができないような状況になるのでしょうか？
- 4、お母様の介護が必要とのことですが、お母様のご状況を差し支えなければ教えてもらえますか？
- 5、丸山さんは介護休暇について、どのように考えられているのでしょうか？
- 6、営業事務から営業職になった場合、どうして勤務時間が増えるのでしょうか？

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例Ⅰの CCt8 (相応しい・相応しくない)

(良) 相談者のキャリアチェンジを会社から伝えられたことに対する、感情を聴くことができ、今更という思いを伺うことができた為、相談者との信頼関係を冒頭に比べて構築することができた点。

事例Ⅱの CCt9 (相応しい・相応しくない)

(悪) 相談者の現在の仕事や職種の転換についての思いや状況について焦点をあてて、傾聴を行ったが、介護の状況や介護休暇についての相談者の感情を丁寧に傾聴することができなかったという点がある。

「問い3」クライアントの主訴  
CC視点の問題

相談者の問題は営業職を見ていて、大変そうであり勤務時間や休日出勤を今の営業事務の仕事よりも増やさないといけないといった思い込みをしている可能性が存在する。その為、営業職についての仕事理解不足が第一に考えられる。また、周囲のサポートの有無や介護ヘルパーの活用等、働きながらも介護行える可能性がある為、介護と仕事の両立について理解が不足している可能性が考えられる。そして、お母様とのこれからの介護についてコミュニケーションが不足している可能性も同時に考えられる。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

これからの介護と仕事の両立についてやっていけるのか不安を抱える相談者の感情を丁寧に傾聴し、前向きにこれからのキャリアについて考えられるように促す。その上で、営業職への転換による勤務時間の増加や、休日出勤の有無とその必要性など上司に詳しく話を聞くことを提案し、営業職についての仕事理解を深めてもらう。また、現在、そしてこれからの介護状況を傾聴しながら、周囲のサポートの有無や介護ヘルパー等の活用が可能であるか確認し、介護と仕事の両立について検討してもらう。以上により、相談者が前向きに相談者自身の今後のキャリアについて意思決定ができるよう支援していく。